▼献血ベニロン-I 静注用　［注］

【重要度】　【一般製剤名】乾燥スルホ化免疫グロブリン（U）　freeze-dried sulfonated human normal immunoglobulin　【分類】静注用免疫グロブリン製剤
【単位】▼2500mg/V　［注射用水 50mL 付き］【特生物】
【常用量】重症感染症における抗生物質との併用には 1 回 2.5～5g 使用．その他は添付文書参照.
【用法】添付の注射用水 50mL に溶かして点滴静注
【透析患者への投与方法】減量の必要なし（5）
【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし（5）
【特徴】抗体分子の S-S 結合部をスルホ化して重合を防ぎ，体内に入ると intact の分子構成に復元する．製造過程で IgG3 の消失あるいは反応の低下が認められ，オプソニン効果は若干低下する可能性がある．スルホ化製剤は PEG 処理製剤に比し血圧低下が少ないといわれている．体液性抗体はウイルスや毒性の中和，オプソニン効果による貪食細胞の活性化及び補体活性化による細胞の溶菌作用によって感染を防御する.
【主な副作用・毒性】ショック，アナフィラキシー，肝機能障害，黄疸，無菌性髄膜炎，急性腎不全，血小板減少，肺水腫など．不安，頭痛，発熱，悪寒，腹痛，悪心などの副作用は投与速度を下げることにより軽快する（Clin Pediat 23-31,1996）
【t1/2】25 日（1）18～32 日で生体内のイムノグロブリンと同じ（U）
【MW】150000
【透析性】分子量が大きいため透析で除去されない（5）
【備考】点滴静注によりゆっくり（約 2～3mL/分）投与する．急速に投与すると血圧降下を起こす可能性がある.
【更新日】20240306

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。